中医・漢方 生薬大事典

専医・非医483生薬の生産地・形態・修治・薬効などについて、2000枚に及ぶカラー写真とともに詳細に解説する画期的事典！

［主編］
陳士林（中国中医科学院中薬研究所所長）
林余霖（中国医学科学院薬用植物研究所）
［日本語版監修］
正山征洋（九州大学名誉教授）
［翻訳］
吉田祥子

2022年9月刊行

全1巻　オールカラー　688頁
A4判・上製カバー装

発行　科学出版社東京　　発売　国書刊行会

◆監修のことば

生薬理解の中心に据えるべき参考書

正山征洋（九州大学名誉教授、長崎国際大学名誉教授・特任教授）

本書は、『中国薬典』（国家医薬品管理監督部門が定める医薬品品質と使用の安全性、品質管理のための医薬品法典。『日本薬局方』に相当）に収載される四八三品目の生薬をオールカラーの写真付きで詳細に解説した事典です。『日本薬局方』に収録されている生薬は一七三品目ですので、本書の掲載数は実にその三倍近くになります。

本書の最大の特徴は、日本では入手出来ない生薬に関わる情報を満載していることでしょう。まず品目ごとに生薬形態の写真が掲げられています。例えば人参の項を見ますと、十三種に及ぶ生薬形態の写真が網羅されており、日本では絶対に見ることが出来ない大変貴重な生薬標本を堪能見ることができます。

修治（加工処理）については大変詳しく示されています。加熱処理一つを見ても、炒って仕上げた炒生薬、強く炒って部分的に炭化する程度まで加熱する炭生薬、また、酢、酒、蜜、麩、羊脂、塩、ミョウバン等で処理したもの、さらに生薬類、例えば生姜、甘草、呉茱萸、黒豆汁等で処理するもの等、日本ではほとんど知られていない修治方法が示されています。修治の別による薬効の違いも記されており、中医学の懐の深さを感じることができましょう。

厚生労働省による食薬区分では、生薬は専医と非医に二分されます。非医は医薬品ではなく、健康食品、機能性表示食品等の原料になり得る生薬で、本書ではこの非医に属する生薬を多く取り上げられています。健康食品、機能性表示食品の市場規模が伸び、我々一人ひとりが正しく素材を吟味し、認識する必要性が出てきている現状にあって、中国における長い歴史に裏打ちされた事実に基づく本書は強いサポーターとなると考えます。

生薬の基原（原料）を理解する上で最も重要なのは学名で、本書では生薬の学名もよく吟味され正しく記述されています。学名をキーワードとすることで、含有成分、安全性、臨床データ等に関する論文など、色々な領域における知見を読者の皆様ご自身で思いのままに探索いただくことも可能でしょう。本書を十全に活用いただくことで、日本における中医学や漢方の生薬に対する理解がさらに深まることを念じています。

西紅花（番紅花）：右＝サフランの植物形態　左＝飲片（乾燥した柱頭）

本書をおすすめします

- 薬学部、医学部、農学部などの学部図書館、大学図書館
- 県立図書館、市町村立図書館
- 植物園、博物館
- 医療機関、漢方薬局・薬店、薬剤師
- 健康食品企業、食品関連企業　など

本書の特徴

- 中医薬・漢方薬として使用される483もの生薬を和名五十音順に配列し、オールカラーの写真とともに詳細に解説した生薬事典。日本薬局方（173品目）の3倍近くという、圧倒的な種類の生薬を収載。
- 生薬ごとに、1）主要産地、2）基原植物（原料になる植物）、3）伝統的採集加工方法、4）薬材の特徴、5）標準的修治法（製法）、6）飲片の特徴、7）性味と効能、8）用量と用法について詳述。すべての生薬に対し、基原植物、薬材、飲片の写真をオールカラーで付す。
- 日本語版では、監修者によるオリジナルの植物解説を加筆。基原植物和名索引も完備し、生薬の基原を知る植物図鑑としても活用できる。健康食品、機能性表示食品等に含まれる植物由来の成分を理解し、把握するうえでも極めて有用。
- 索引は、基原植物和名索引に加え、基原植物学名索引、各生薬の簡体字表記の画数別索引を付して、専門的な論文等ともリンクできるようにした。また専門外の読者向けには、「植物用語解説」および「中医薬用語解説」を付し、その便に供するつくりとした。
- 研究者、薬剤師、薬学部学生、漢方薬局・薬店、医師、健康食品企業・食品関連企業関係者などの専門家だけでなく、中医・漢方薬に興味のある一般読者まで幅広く活用できる、図書館必携のレファレンス。

生姜：右＝ショウガの植物形態　左＝飲片（新鮮な根茎）

『中医・漢方 生薬大事典』
全1巻／A4判／上製カバー装
688ページ／オールカラー
2022年9月発売
ISBN：978-4-336-07351-8
定価：本体38,000円＋税
発行：科学出版社東京
発売：国書刊行会

国書刊行会
〒174-0056 東京都板橋区志村1-13-15　TEL：03-5970-7421　FAX：03-5970-7427
https://www.kokusho.co.jp　E-mail: info@kokusho.co.jp

取り扱い店

申込書

ご記入後、お近くの書店へお持ち下さい。

『中医・漢方 生薬大事典』を＿＿＿＿冊 注文します
（定価：本体38,000円＋税）

お名前

ご住所

お電話

［編著者（主編）略歴］

陳士林（ちんしりん）
中国中医科学院中薬研究所所長、教授。中国教育部の「長江学者および イノベーション・チーム発展計画」採択チーム責任者。『中国中薬雑誌』『中医学報』『Chinese Herbal Medicines（中草薬、英語版）』副編集長、『絶滅危惧薬材繁殖育成国家工程実験室』主任および中国薬学会中薬・天然薬物専門委員会主任委員を兼務。これまでに、中国医学科学院薬用植物研究所所長、WHO伝統医学協力センター主任、米国薬局方中薬伝統医薬諮問グループ顧問を歴任。主な編著書に『中薬DNA条形码分子鑑定（DNAバーコーディングによる中薬材料の同定）』『中国薬材産地生態適宜性区画（中国における薬材産地の生態適合性地域）』などがある。

林余霖（りんよりん）
中国医学科学院薬用植物研究所研究員、長年にわたり薬用植物の古典的分類と生薬の鑑別に従事。一九八三～一九八七年に厦門大学生物学科、一九九三～一九九五年に協和医科大学で学び、生薬学修士号を取得。その後イギリス、スイス、台湾で専門的訓練を受けた。一九九九年に国際標本管理技術訓練プログラムに参加、英国王立植物園が交付する認定証「An International Diploma in Herbarium Techniques」を取得し、同植物園の中薬材同定センター建設に寄与した。学術論文三〇編余りを発表し、主な編著書に『中華人民共和国薬典中薬材及原植物彩色図鑑』『中薬材真伪鑑別手冊』『中薬速認図集』『中草薬大典』『中草薬採取手冊』などがある。

［監修者略歴］
正山征洋（しょうやま ゆきひろ）
一九四三年大連市生まれ。マサチューセッツ・ゼネラル・ホスピタル博士研究員、九州大学薬学部教授、同薬学部長、同名誉教授、長崎国際大学薬学部教授、日本生薬学会会長、世界中医薬学会連合会副会長を歴任。現在、長崎国際大学薬学部名誉教授、同特任教授、主研究領域は、大麻研究、サフラン研究、薬用成分に対するモノクローナル抗体作成と応用研究、生薬の活性成分研究、薬用植物のバイオ研究。

丁香（丁子）：右＝チョウジノキの植物形態　左＝飲片（乾燥した花蕾）

収録項目

ア行

阿膠（アギ）
愛脚子（アダンシ）
車麻子（アマシ）
〔亜麻仁（アマニン）〕
茴香仁（イクニン）
一枝黄花（イッシコウカ）
伊貝母（イバイモ）
委陵菜（イリョウサイ）
威霊仙（イレイセン）
茵蔯（インチン）
〔茵蔯蒿（インチンコウ）〕
淫羊藿（インヨウカク）
鬱金（ウコン）
禹州漏蘆（ウシュウロロ）
烏梅（ウバイ）
烏薬（ウヤク）
雲芝（ウンシ）
延胡索（エンゴサク）
〔元胡（ゲンゴ）〕
黄芩（オウゴン）
黄芩（オウゴン）
黄蜀葵花（オウショクキカ）
黄精（オウセイ）
鴨跖草（オウセキソウ）
黄連（オウレン）
大黄（ダイオウ）
太子参（タイシサン）
王不留行（オウフルギョウ）
黄連（オウレン）
滅疵（オンジ）

カ行

槐花（カイカ）
槐角（カイカク）
海金砂（カイキンシャ）
茶子（ガイシ）
海蓬（カイソウ）
薤白（ガイハク）
海風藤（カイフウトウ）
艾葉（ガイヨウ）
仮蜀椒（カショクセン）
鶴虱（カクシツ）
核桃仁（カクトウニン）
夏枯草（カコソウ）
車山菊（カザンギク）
河子（カシ）
瓜子金（カシコン）
何首烏（カシュウ）
蕪荑（ガシュウ）
花椒（カショウ）
瓦松（ガショウ）
葛根（カッコン）
夏天無（カテンム）
猪苓皮等（チョレイヒトウ）
火麻仁（カマニン）
〔麻子仁（マシニン）〕
荷葉（カヨウ）
瓜蔞（カロ）
〔栝楼実（カロジツ）〕
瓜蔞子（カロシ）
〔栝楼仁（カロニン）〕
瓜蔞皮（カロヒ）
〔栝楼皮（カロヒ）〕
閻黄柏（カンオウバク）
谷精草（コクセイソウ）
乾姜（カンキョウ）
乾漆（カンシツ）
甘松（カンショウ）
甘草（カンゾウ）
甘遂（カンスイ）
款冬花（カントウカ）
枯礬（キョホン）
菊花（キクカ）
枳殻（キコク）
枳実（キジツ）
橘核（キッコク）
橘紅（キッコウ）
韭菜子（キュウサイシ）
急性子（キュウセイシ）
九里香（キュウリコウ）
麦黄（キュウセキ）
光活（キュウカツ）
京大戟（キョウタイゲキ）
玉竹（ギョクチク）
虎掌粉（ギョホビンフン）
鳩麦仁（キレンソウ）
金桜子（キンオウシ）
金果欖（キンカラン）
金銭麦（キンキョウバク）
錦合歓（キンキョウヨウ）
金銀花（キンギンカ）
筋骨草（キンコツソウ）

槲寄生（ギンサイコ）
金銭草（キンセンソウ）
金銭鉋（キンテツサ）
錦灯籠（キントウロウ）
〔酸漿（サンショウ）〕
金鏡草（キンケイソウ）
金沸草（キンフツソウ）
錦灯籠（キンポンゴン）
〔酸漿（サンショウ）〕
苦楝皮（クレンピ）
茵蔯（クロヨモギ）
苦参（クジン）
苦瓜（クヘイ）
苦楝皮（クレンピ）
荊芥（ケイガイ）
〔荊芥穂（ケイガイスイ）〕
荊芥穂（ケイガイスイ）
決明子（ケツメイシ）
血竭（ケッカ）
〔紫根（シコン）〕
牽牛子（ケンゴシ）
芡実（ケンジツ）
牽牛子（ケンゴシ）
金銭草（キンセンソウ）
金沸草（キンフツソウ）
荊芥穂（ケイガイスイ）
荊芥（ケイガイ）
〔荊芥子（ケイガイシ）〕
枸杞（コウキ）
広霍香（コウカコウ）
香加皮（コウカヒ）
合歓花（ゴウカンカ）
合歓皮（ゴウカンヒ／ゴウカンピ）
紅花（コウカ）
広金銭草（コウキンセンソウ）
紅景天（コウケイテン）
降香（コウコウ）
香附（コウブシ）
紅参（コウジン）
紅豆蔻（コウズク）
広霍（コウセキ）
紅大戟（コウタイゲキ）
向春（コウトウ）
〔釣藤鈎（チョウトウコウ）〕
紅粉勾（コウハネ）
香附（コウブ）
〔香附子（コウブシ）〕
厚朴（コウボク）
厚朴花（コウボクカ）
高良姜（コウリョウキョウ）
功労木（コウロウボク）
五加皮（ゴカヒ）
牛蒡子（ゴボウシ）
牛膝（ゴシツ）
五味子（ゴミシ）
胡麻油（ゴマユ）
小麦（コムギ）
小麦麸（コムギフスマ）
商陸（ショウリク）
金沸草（キンフツソウ）
昆布（コンブ）

サ行

蚕砂（サンサ）
山楂子（サンザシ）
山梔子（サンシシ）
山茱萸（サンシュユ）
山豆根（サンズコン）
酸棗仁（サンソウニン）
山薬（サンヤク）
三白草（サンパクソウ）
山慈姑（サンジコ）
三七（サンシチ）
山茱萸（サンシュユ）
山豆根（サンズコン）
三稜（サンリョウ）
蚕砂（サンサ）
山薬（サンヤク）
三棱（サンリョウ）
酸棗仁（サンソウニン）
蚕砂（サンサ）
山梔子（サンシシ）
〔梔子（シシ）〕
山慈姑（サンジコ）
〔山慈姑（サンジコ）〕
梔子（シシ）
〔山梔子（サンシシ）〕
決明子（ケツメイシ）
芝実（シジツ）
〔紫根（シコン）〕
紫梗根（シバコン）
紫蘇子（シソシ）
紫蘇葉（シソヨウ）
〔蘇葉（ソヨウ）〕
児茶（ジチャ）
蔥白（シラリ）
〔蔥茎白（シラリジ）〕
梔香（シチイ）
梔粉（シフンクチ）
地骨子（ジコツ）
漏牛膝（シャクセイトウ）
蛇床子（ジャショウシ）
車前子（シャゼンシ）
車前草（シャゼンソウ）
砂仁（シャニン）
〔縮砂（シュクシャ）〕
蛇苺子（ジャイチシ）
百合根（シュユリネ）
珠子参（シュシジン）
猪胆風（シュセツフウ）
紅豉（シュヒ）
小百合（ショウウイキョウ）
松花粉（ショウカフン）
小通草（ショウツウキョウ）
小蘆（ショウロ）
〔白蘆（ビャクロ）〕
小通草（ショウツウキョウ）
小茴香（ショウウイキョウ）
小紫苏（ショウパッソ）
升麻（ショウマ）
小葱莖（ショウソウキョウ）
商陸（ショウリク）
〔竹節人参（チクセツニンジン）〕
触鬚香（チチュコウ）
知母（チモ）
地榆（チユ）
滑石（カッセキ）
〔丁香（チョウジ）〕
〔丁子（チョウジ）〕
猪牙皂（チョウゾウ）
〔皂角（ソウカキョウ）〕
猪苓（チョレイ）
〔皂莢（ソウカキョウ）〕
猪苓（チョレイ）
〔猪苓皮（チョレイヒ）〕
猪苓皮（チョレイヒ）